

説 教

聖日礼拝

北浜チャーチ
黒田禎一郎

2022年10月2日（日）

主 題：「神は愛です」（3）

—愛は行動です—

テキスト：第一ヨハネの手紙3章16-18節

はじめに

・おはようございます！

- ・今から約30年前、日本ではポケベル全盛期を迎えていました。その次に現れたのは、携帯電話でした。これは2007年以降普及すると、その次に現れたのはスマホ（スマートフォン）でした。
- ・現在は言うまでもなく、スマホ全盛時代です。日本ばかりでなく、今では世界中、どこにいてもスマホが普及しています。
- ・これから、つまりスマホの次にはどんな時代来るであろうか、と多くの方々に関心を寄せています。
- ・皆さんは、イスラエルは「イノベーションの国」であること知っておられるでしょう。それはコンピューター・サイエンス技術が核となって、開発される分野です。
- ・日本人に親しまれたイスラエルのコーヘン駐日大使は、かつて次のようなことを語られました。
「イスラエルには日本のような自動車を作る力はないが、自動車の頭脳は作ることができる。」例えば、今ではほとんどの車に搭載される「衝突事故防止システム」。
- ・今では素晴らしい高級車が存在する時代となりましたが、自動車の最も大切なことは「安全」です。イスラエルのモビールアイ社が、その「頭脳」の最先端を走っています。彼らは「衝突事故防止システム」を開発し、安全運転ソリューションを世界に提供中です。ナビゲーション技術は、今後更に数倍も安全性を提供する時代が来ようとしています。
- ・へえ、そんな事は知らなかった！ と言われる方もおられましょう。私たちが知らないところで、世界は動いているのですね。

- 同じように、私たちもかつては、愛を知らない者でした。しかし、イエス・キリストが十字架におかかりくださり、私の罪を全て処分し赦してくださいました。
- 神の愛によって、罪という負債を赦していただきました。その事實は、今度は私たちが「兄弟を愛する者」に変えられたことによって分かります、ヨハネは述べました。本当に感謝です。「神は愛です」
⇒私たちは今、互いに愛し合う存在に変えられた事實に感謝します。
- ですから、私たち神を信じる者は、死からいのちに移っています。
3:14 私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛さない者は死のうちにとどまっています。
聖書は実に明白に記していますね。
 - ① 兄弟を愛する者は、死からいのちに移った
 - ② 愛さない者は、死のうちにとどまっている
- ここまでが、前回私たちが学んだところです。
- 今日は16節から18節を通して、「愛が分かったという事実」に進みます。皆さんはご存知でしょう。
➡「知っている」と、「分かった」ということは違うことを
3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私たちも兄弟のために、いのちを捨てるべきです。
- 原文では、「愛が分かったのです」で始まります。（独語聖書もそう）
愛（アガペー）はこの世にはありませんし、私たちの心の中にもありません。
復習ですが、ギリシャ語には「愛」という単語には4つあります。
 - ① 「愛」：storgeh(ストルゲー) 肉親の愛
 - ② 「愛」：philia(フィリア) 友愛、博愛、人情的な愛
 - ③ 「愛」：eros(エロス) 性的な愛、骨肉の愛
 - ④ 「愛」：agapeh(アガペー) 無償の愛
- 私たちの社会では、愛という言葉はありますが、④のアガペー「愛」という事実はありません。ですから、神に出会う前の人間は誰一人としてアガペー「愛」を経験していません。
- 私たちがいう愛、私たちが持っている愛は、全て①から③の愛に過ぎません。どんなに優れた方で、何一つ欠けたところがないように思われる方であっても、④のアガペー「愛」は持ち合わせていません。

3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。

- ・私たちはキリストの十字架による愛を信じて、初めて神の愛とは、どのようなものが分かりました。すなわち、イエス・キリストの十字架の中に、「愛」の本質が完全な形で表現されているのです。
- ・私たちは今日、神の「愛」について考えてみましょう。

大切なポイント

1. 愛は「自分のいのち」を与えること

イエスはヨハネの福音書15章で次のように言われた。

- ・ 15:13 人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。
- ・ 私たちの住む人間社会にあるのは、条件付き、お返し付きの愛ではないでしょうか。何か愛の行動を取れば、そのお返しを密かに期待するような愛ではないでしょうか。あるいは余り物を与えるような愛です。余っているので、どうぞ！というような愛の行為です。
- ・ それらの愛は、たとえ肉親であっても、身内であっても、後日大きなツケが回ってくるものです。
- ・ 神が私たちに与えて下さった愛は、そういう小さな愛ではありません。いいえ、「自分のいのち」をさえ惜しまずに与えて下さった、自己犠牲の、そして無報酬の愛なのです。それを理解することは簡単ではありません。
- ・ イエスは言われました。

15:13 人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

注意！ ➡ いのちを与えるということは、最も大きな愛である！

『例 話』 シベリア収容所の囚人、父親の身代わり

- ・ 現在、世界各地で起こっている戦争、民族と民族の衝突、全て神から離れた人間の悲しむべき姿です。神は人間をこのようにお造りになられませんでした。人間をご自身の姿に似てお造りくださいましたが、神から離れた人間は大変な者となってしまいました。
- ・ しかし「神は愛であるお方です」そのような悪に満ちた者を救うために、イエス・キリストをお送りくださいました。そしてあの恐ろしい十字架に付け

られ、聖なる血を流すことによって、イエスを信じる者に救いの道を備えられました。神はイエスをキリスト（救い主）と信じる者に、救いの道を開かれました。

- 1 ヨハネ 4 章

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

* ヨハネは愛について、さらに語りました。

2. 愛は行動です

1) キリスト者の行動

- 愛とは「自分の命」を捨てるという行動です。単なる気持ちや理念ではありません。私たちは悪事を働いてはいないからと言って、決して満足してはなりません。イエスはルカ福音書 10 章で次のようにたとえを話されました。

10:30 イエスは答えられた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下って行ったが、強盗に襲われた。強盗たちはその人の着ている物をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。

10:31 たまたま祭司が一人、その道を下って来たが、彼を見ると反対側を通り過ぎて行った。

10:32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。

10:33 ところが、旅をしていた一人のサマリア人は、その人のところに来ると、見てかわいそうに思った。

10:34 そして近寄って、傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで包帯をし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行って介抱した。

10:35 次の日、彼はデナリ二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。
『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』

10:36 この三人の中でだれが、強盗に襲われた人の隣人になったと思いますか。」

10:37 彼は言った。「その人にあわれみ深い行いをした人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って、同じようにしなさい。」

- このたとえで、祭司とレビ人は悪いことをしたわけではありません。では、何がサマリア人にこのような行動をさせたのでしょうか。

当時、サマリア人はユダヤ人と交流はありませんでした。むしろ祭司やレビじんからは、見下げられた人でした。しかしサマリア人には愛の行動がありました。祭司やレビ人はなすべき善を行いませんでした。

- 私たちの内には、愛の行動をとるモチベーションはあるでしょうか。私の内には、ありません！！

- では、愛の行動をとるにはどうすれば良いでしょうか。

① イエス・キリストをさらに知ること（学ぶこと）

私たちはイエス・キリストの十字架の愛を体験して、初めて愛というものを知りました。それはイエスがご自身の命を捨てて、行動を持って示して下さいました愛です。

② イエス・キリストに倣うものとなること

イエスは私たちのお手本となりました。弟子たちの汚れた足を洗われた主です。しもべとなられたお方です。マルコ10章

10:45 人の子も、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。」

- 16節に「捨てるべきです」という言葉が出てきますが、これは「負債がある」という意味です。神から受けた愛の負債を兄弟に返していくことです。ですから兄弟を愛する愛の行動は、相手の価値などにあるものではありません。
- いいえ、私たちが受けた神の愛にあります。私たちが受けた神の愛を、今度は隣人に行動を持って現すことです。ここにキリスト者の愛の行動があります。
- * 愛は行動です。

2) キリスト者の本質

- 3:17 この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょうか。
「あわれみの心」とは、相手のつらさに共感することです。
それはキリストの愛を経験した人が自然に現れる共感でしょう。
- 3:18 子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。

- クリスチャンの本質とは何でしょうか。それはキリストにあって神との「交わり」を持つことです。人類に基本的な問題は、神を裏切り、神との「交わり」が断たれたことです。ですから「交わり」を回復することが大切です。
- ・それは、キリストへの信仰と、愛の実践という2つの戒めを守る時に可能となります。それは線路の上を歩くような人生です。
 - ・私はこんな話を聞きました。キリスト者の生活は線路の上を歩くようであると。2本のレールとは；
 - ① キリストへの信仰
 - ② 愛の実践
 - ・私はシベリアを訪ねた時に歩いた、あの鉄道線路を思い出しました。説明してくれた現地のロシア人牧師は語りました。「ここは永久凍土です。この2本レール、枕木の下には数え切れないほどの囚人が眠っている」と。私はそこに立ち、非常に心打たれました。
 - ・「キリストへの信仰」と「愛の実践」を守るとき、2ほんのレールの下にはイエス・キリストというお方がおられます。線路は目的に到着するように、私達も神の国に入るものとされるのです。

ま と め

主 題：「神は愛です」 (3)

—愛は行動です—

- ・主は今朝も私たちにお語りくださいました。神は確かに愛にお方です。神の愛によって救われたキリスト者は、今度は愛の行動を持って歩む者となりました。
- ・キリスト者の生活 ➡ 2本のレールの軌道を走るようです。
 - ① 「キリストへの信仰」と
 - ② 「愛の実践」
- ・最後に次の聖句をお読みしましょう。

3:16 キリストは私たちのために、ご自分のいのちを捨ててくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。ですから、私達も兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

*God bless you!